

第4回 神戸電鉄栗生線活性化協議会 議事録

日時：平成22年3月25日(木) 15:30～17:30
場所：三木市立教育センター 出席者：別紙のとおり

開 会

(1) 第3回協議会議事録の確認

- ・第3回協議会の議事概要について、議事録の確認がなされた。

(2) 報告事項

- ・以下の事項について、事務局から報告があった。
 - ①栗生線活性化シンボルマークのキャラクター愛称決定
 - ②栗生線フラワーライン計画(植樹式)の実施状況
 - ③パブリックコメントの実施結果
- ・委員から、桜の植樹はソメイヨシノだけでなくカワヅザクラのような開花の早い種類も考えてはどうかとの意見があった。

(3) 議 事

●議案1号「神戸電鉄栗生線 地域公共交通総合連携計画(案)」について

- 議案1号について事務局より以下の報告があった。

- ① アンケート調査結果の概要報告
- ② 活性化施策の体系と概算事業費の説明
- ③ 事業の実行主体とスケジュール、推進体制等の説明

- 座長より委員に意見を求めたところ、以下の意見が出された。

<計画目標について>

- ・3年後に平成20年度並の輸送人員(年間730万人)の確保を目標としているが、それで栗生線は存続できるのか。

<企画きっぷについて>

- ・企画きっぷは、行政と地元の自治会、老人会、婦人会等の団体や小中学校が相

話し、地域の行事やイベントと関連した企画を考えれば、もっと浸透するのではないか。

- ・企画きっぷの情報が広く市民に伝わっていないので、地道に周知活動を続けていくことも重要である。

<情報発信について>

- ・粟生線の状況をもっとPRして、沿線住民の草の根運動を展開していくことが必要である。
- ・山陽や京阪ではテレビCMを実施しているが、神戸電鉄ではやらないのか。
(神戸電鉄より、テレビCMは費用が非常に大きいため、PRには新聞折込チラシなどを活用しているとの回答があった。)

<駅・車両について>

- ・パーク&ライド駐車場の整備などは、具体的に実施駅を決めて進めていった方がよいのではないか。
(事務局より、連携計画に候補駅を記載しているが、実施可能性や効果も検討のうえ進めていきたいとの回答があった。)
- ・引退車両の動態保存やクロスシート車両の導入を検討してはどうか。
- ・駅間が長いところでは、新しい駅ができれば、バス利用者や高齢者などの鉄道利用も増えるのではないか。

<公共交通利用促進について>

- ・今後、人口減少等で相当数の交通需要の減少が予想される中、行政職員が率先して公共交通利用を行っていくべきである。
- ・行政職員の公共交通利用転換は、実際に交通費を乗車券で支給するなどの方法をとらないと実効性が出てこないのではないか。

<今後の事業推進について>

- ・単に神戸電鉄を支援するというのではなく、まちの活性化について議論を深め、そのために粟生線が必要であるということを訴えていきたい。
- ・3年間の計画を進めていくうえで、実施結果の検証を行いながら、効果のあるものに見直していくことが必要である。
- ・鉄道事業者として、さまざまな力強いご協力やご意見に感謝するとともに、利用者に評価されるよう、できる限り便利に乗っていただけるよう魅力を高めていきたい。

○ 座長より以下のコメントがあった。

<計画目標について>

- ・ 計画目標の 730 万人を達成すれば粟生線を残せるかどうかはわからないが、現状のままでは立ち行かないことは確かであり、まず、目標を掲げて利用促進に取り組み、効果がある施策を明確にしながら、更に事業を推進していくことが必要ということである。

<「まちづくり」との連携について>

- ・ これまでの「まちづくり」は、駅前の開発や施設立地、道路整備など、鉄道との関係を十分考慮して進められなかった面もあるため、人口構造が高齢化すると鉄道利用者が減っていくことになる。
- ・ 今後は、鉄道を残すためだけでなく、鉄道があることによって、環境問題も含め地域住民の生活が豊かになるような「まちづくり」と一体となった取り組みを進めていくことが必要である。
- ・ 今回、行政、地域の方々、鉄道事業者が一緒になって取り組む場として協議会ができたので、そのような方向で進んでいくことを期待する。

<企画きっぷについて>

- ・ 施策メニューの中で、例えば企画きっぷとパーク&ライドやモビリティ・マネジメントなど、相乗効果のあるものを組み合わせて実施することも検討してはどうか。
- ・ 企画きっぷの利用促進を働きかけるために、行政と地域が公共交通利用を考えたり、アイデアを出したりするような地道な活動も必要である。

<運賃について>

- ・ アンケートやパブリックコメントを見ても、運賃が高いという声が多い。鉄道事業者の経営努力だけで運賃を下げることは難しいので、企画きっぷの認知を高める努力や、ターゲットを絞った割引施策等の検討も必要と思われる。
- ・ 例えば、神戸市のエコファミリー制度など、子供の利用体験を増やすことで将来の利用者を育てるような施策も必要である。

○ 議案 1 号について委員の承認を得た。

●議案2号「神戸電鉄粟生線 地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請」
について

- 議案2号について事務局より報告があり、「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金」の交付を受けるため、議案2号の内容で国へ申請することについて委員の承認を得た。

(3) 協議会のスケジュールについて

- 事務局より、第5回協議会は6月中旬の開催予定とし、平成22年度は3回程度開催予定である旨の報告があった。

閉 会

以上

第4回 神戸電鉄粟生線活性化協議会 出席者（敬称略）

○委員

氏名	所属・役職	出欠
末永 清冬	神戸市企画調整局 参事	
西山 誠	三木市 技監	
小林 清豪	小野市 副市長	
三津澤 修	神戸電鉄株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長	
中垣 千秋	押部谷町連合自治協議会会長	
中野 美都子	押部谷町連合自治協議会副会長	
蓬莱 道龍	三木地区区長協議会会長	欠席
安福 恵子	自由が丘地区区長協議会会長	
田中 歳彦	小野市連合区長会会長	
多鹿 豊	小野市商店街理事	
土井 勉	神戸国際大学経済学部 都市環境・観光学科教授	

○オブザーバー

氏名	所属・役職	出欠
浪越 祐介	国土交通省 近畿運輸局企画観光部 交通企画課長	欠席
水田 忠典	国土交通省 近畿運輸局鉄道部 計画課長	
松田 智	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 主幹	代理出席
矢野 実	兵庫県 神戸県民局 総務室 交流・連携参事	欠席
森田 克彦	兵庫県 北播磨県民局 総務室 主幹兼地域企画課長	代理出席
山本 琢也	神戸市西区 まちづくり推進部 まちづくり推進課長	